

## 第三十六回北方領土の返還を求める都民大会 会長挨拶

○ただいまご紹介をいただきました谷茂岡でございます。第三十六回北方領土の返還を求める都民大会の開催にあたりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。本日は、お忙しいところ、このように大勢の皆様にご出席いただきまして、まことにありがとうございます。

○都民大会には毎年多数のご来賓をお迎えいたしております。本年も、東京都、東京都議会、内閣府、外務省、並びに、北方領土問題対策協会からお出でいただいております。ご支援に対しまして御礼を申し上げます。

○本日の講演会では、宮家 邦彦様にお越しいただき、今のロシアの動きを踏まえた、北方領土問題に関する現状についてお話をいただけると聞いております。宮家（みやけ）様は、外務省のご出身で、現在はキャノングローバル戦略研究所の研究主幹としてご活躍されています。メディア等もお見かけする機会も多く、本日の講演でも、興味深いお話が伺えるものと思います。

○また、昨年7月に東京都主管で行われた、北方領土返還

要求運動関東甲信越青少年交流会について、参加者から発表がございました。今回の交流会での体験を通じて、次世代を担う中学生の皆さんや先生が何を感じられたのか、発表を大変楽しみにしております。

○この都民会議も昭和五十八年の設立以来、今年で三十五年目となります。

この間私どもは、日本国政府とソ連そしてロシア政府との交渉を見守りながら活動をしてまいりましたが、残念ながら四島返還という私たちの悲願はいまだ果たされておりません。一日も早く北方四島が日本へ帰ってくることに、そして日露両国の国民同士が、本当に胸襟を開き、信頼関係を持って交流できる日が必ず来ることを信じて、私たちの運動を進めていかなければならない、と強く感じております。

○島を取り戻すまで、私たちは決してあきらめることなく、粘り強く、そして希望を持って、返還運動を推し進めてまいりたいと存じております。どうぞ、皆様方にも引き続き力強いご支援をお願い申し上げます。簡単ではございませんが、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。